

次の文章は樹高の測定に関する記述である。文章中のA～Cに入るものの組合せとして妥当なものはどれか。

樹高の測定方法には直接測定法と、幾何学法や  など数学の原理を使った道具を用いて測定する間接測定法があり、間接測定法の測定の道具には、  やワイゼ式測高器などがある。

また、測量技術の進歩により  やレーザ測高器などデジタル測高器が開発されている。

- | A       | B                         | C            |
|---------|---------------------------|--------------|
| 1. 三角法  | ブルーメライス                   | 超音波測高器       |
| 2. リーケ式 | コンパス                      | シュピーゲルレラスコープ |
| 3. 三角法  | <small>そっかん</small><br>測竿 | 超音波測高器       |
| 4. リーケ式 | ブルーメライス                   | 超音波測高器       |
| 5. 三角法  | 測竿                        | シュピーゲルレラスコープ |

正答：1

土壌の分類に関する記述A～Dの正誤の組合せとして妥当なものはどれか。

- A. ポドゾルは、寒冷湿潤な、亜寒帯あるいは亜高山帯の針葉樹林帯に多くみられ、ポドゾル化作用を主要な生成因子とする弱酸性の土壌である。
- B. 褐色森林土は、温暖湿潤な地帯の、主として広葉樹林帯にみられる。わが国の暖温帯から冷温帯の山地、さらに亜寒帯あるいは亜高山帯の一部にまで広く分布している。
- C. 赤色土、黄色土は、熱帯から亜熱帯地方の高温乾燥の気候下で生成される土壌である。
- D. 黒色土は、火山山麓や準平原など緩傾斜地に広く分布している。人工造林には適するが、褐色森林土に比べると生産力はやや低い。

- |    | A | B | C | D |
|----|---|---|---|---|
| 1. | 正 | 正 | 誤 | 正 |
| 2. | 正 | 誤 | 正 | 誤 |
| 3. | 正 | 誤 | 正 | 正 |
| 4. | 誤 | 正 | 誤 | 正 |
| 5. | 誤 | 正 | 誤 | 誤 |

正答：4

測点A, Bから距離がほぼ等しい位置にレベルをすえつけ、測点Aを視準した標尺の読みの<sup>こうし</sup>後視(B.S.)が1.825m、レベルを測点Bに向け視準した標尺の読みの<sup>ぜんし</sup>前視(F.S.)が1.208mであった。

測点Aの標高を50.000mとした場合、測点Bの標高として正しいのはどれか。

1. 46.967m
2. 49.383m
3. 50.309m
4. 50.617m
5. 51.234m

正答：4